

未勘 万代のかげをならべて鶴のすむふる江のうらは松ぞだかき布勢浦大宮人にかりつけのうらに行てしめでは百敷のみぬ、藤江浦波へなみをあらたへのふち江のうらにすぎつるあまとかみえん旅行われな沖つ有め、かもゐをきつす、藤井浦同あしたづのふちゐのうらにくと、二見浦播州勢州兩所夕月夜船いざよふ月、

くしげ二見のうらは明てこそみめ、是は播州歟。玉くしげ二見のうらのかひしげみまき魚にみゆる松のむら立おきつしま人月千島かたしかひあられ伊勢しま共そへたりいせ也。

衣浦 もにあらはれて玉ぞよりくる、ぬれてほす、あまの衣のうらな
み、ちどりしほたる、あまりの衣の玉かしは、ほみるめすくなき月。 **明石浦** はりま、螢、船、松原、月。
桂 千鳥、波、枕、鹿、擣衣。 **古木舗** 勢州、月、恨思、もしは木に雪つみそへ
とまや、やく鹽、あま小舟、あまのいさり火、たくも。

の想たるに久の日には出でるゝもいたしく
さが浦のうらみても度か 阿古根浦紀伊わ
きなればかはる契りを 阿古根浦ふかき
あわが思ひし野しまは見せつ庭 有間浦攝津木
あこのうらに船のりすらん乙女 有間浦越中射水郡
河吉浦長門 からくのみありそのう

阿古漁子があかものすそにしほみつらんか
有宿浦らの濱千鳥よそに鳴つゝ戀やわたら
ん、浅香浦攝州住吉郡、みをつくし、玉もかる、夕
思、飽浦紀州空貝、あびきするあまとや見つれるあ
れば鹽みちきなん、常州有三同名、
きの浦にきはする白波のこらへ、
あらしきの浦にきはする白波のこらへ、
おもむく未動

かめぐりあしのうらのものさたなくも見ゆる
かな波はよりてもあらはざりけり或云伊勢
みみか足利浦近江會瀬浦常州浪のよるとはみれど立かへりつゝあは手浦尾張あまだにもみ
あをの浦伊勢あをのうらによする白波いいたち・をよせてあゆをいた

こそきげしはたる、袖のひるまうつせがひ、名にたてゝ戀もしほびかたいとあまのすせて舟、名ぞなありの浦め立歸り名ごりもありのうらなれれば神も不入ば神也、遊浦丹後みさたの浦出雲沖

なみのきよるさたのうら此さた過てのちこひんかもさだまらぬな
みさたのうらによする白なみ源もなく思ふをいかにいもに逢がたき
うらにいてみればあまの里毎士浦あはしほやき衣たちわかれ衣うつ歸雁界
鋪きの國但

ともしひなみ間よりみゆ
ま、興つも、新春のさかひのうらのさ
くら鯛あかねかたみにけふや引らん
駿河しらつ、じ松月霧風はやへのみお共つ、けたり、清みが關をも
そへたり、富士のけぶりをもそへたり、是等何も近所也、山ち打出て、
夕日浦入かんばや夕日のうらの天のはしだれ
三尾浦つの國、もしほやくらつ、じ

きな
雜賀